

四半期報告書

(第83期第1四半期)

自 平成23年4月1日
至 平成23年6月30日

はごろもフーズ株式会社

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1

第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	3

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	5
(2) 新株予約権等の状況	5
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	5
(4) ライツプランの内容	5
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	5
(6) 大株主の状況	5
(7) 議決権の状況	6

2 役員の状況

6

第4 経理の状況

7

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	10
四半期連結包括利益計算書	11

2 その他

13

第二部 提出会社の保証会社等の情報

14

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成23年8月12日
【四半期会計期間】	第83期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	はごろもフーズ株式会社
【英訳名】	HAGOROMO FOODS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 溝口 康博
【本店の所在の場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054)354-5000
【事務連絡者氏名】	専務取締役サービス本部長 後藤 清雄
【最寄りの連絡場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054)354-5000
【事務連絡者氏名】	専務取締役サービス本部長 後藤 清雄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） はごろもフーズ株式会社東京支店 （東京都調布市小島町一丁目32番2号 京王調布小島町ビル2F） はごろもフーズ株式会社名古屋支店 （愛知県名古屋市中区新栄町二丁目9番地 スカイオアシス栄 12階） はごろもフーズ株式会社大阪支店 （大阪府大阪市都島区片町二丁目2番48号 MID京橋ビル）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第82期 第1四半期連結 累計期間	第83期 第1四半期連結 累計期間	第82期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高（千円）	20,838,187	20,624,516	78,366,501
経常利益（千円）	1,014,118	799,349	1,907,567
四半期（当期）純利益（千円）	597,426	426,783	640,190
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	369,860	401,883	517,234
純資産額（千円）	23,102,853	23,211,564	23,066,847
総資産額（千円）	45,416,983	50,153,588	46,182,176
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	29.11	20.82	31.20
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（%）	50.9	46.3	49.9

- （注） 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 売上高は消費税等は含みません。
- 3 第82期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 平成22年6月30日）を適用し、遡及処理をしています。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また主要な関係会社に異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

平成23年3月期の有価証券報告書（平成23年6月29日提出）に記載の内容から重要な変更がないため、記載を省略しています。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当社グループでは、依然として消費の低迷が続く厳しい環境のなか、「人と自然を、おいしくつなぐ」をテーマとし、価値訴求型の販売促進を実施し需要喚起に努めました。とくに、小売店の店頭においてテレビCMと連動したメニュー提案や、主力製品を生鮮品・惣菜など関連する売場で販売強化しました。しかしながら、東日本大震災の影響で一部の資材が不足するなどの理由から製品供給が十分にできなかったこともあり、売上高は206億24百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

売上高の減少に加え、主原料の価格が前年同期を上回ったことで売上総利益は減少しました。販売費及び一般管理費は前年同期並となり、営業利益は5億93百万円（同25.9%減）となりました。

これらにより、経常利益は7億99百万円（同21.2%減）、四半期純利益は4億26百万円（同28.6%減）となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていないませんが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

（単位：千円、%）

製品群		前第1四半期		当第1四半期		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ	9,147,086	43.9	9,576,123	46.5	429,036	4.7
		デザート	1,382,749	6.6	948,364	4.6	△434,385	△31.4
		パスタ&ソース	2,234,147	10.7	2,333,334	11.3	99,187	4.4
		総菜	1,635,075	7.9	1,550,464	7.5	△84,611	△5.2
		花かつお・海苔・ふりかけ類	1,666,767	8.0	1,572,835	7.6	△93,932	△5.6
		ギフトセット・その他食品	1,231,407	5.9	1,074,512	5.2	△156,895	△12.7
		計	17,297,234	83.0	17,055,634	82.7	△241,600	△1.4
	業務用食品	2,805,731	13.5	2,856,425	13.9	50,694	1.8	
	ペットフード・バイオ他	546,824	2.6	540,731	2.6	△6,092	△1.1	
	計	20,649,790	99.1	20,452,791	99.2	△196,998	△1.0	
その他	188,396	0.9	171,724	0.8	△16,672	△8.8		
合計	20,838,187	100.0	20,624,516	100.0	△213,670	△1.0		

（注） 上記金額は消費税等を含みません。

「ツナ」では、花かつお・海苔との新しいサラダメニュー提案をテレビCMの投入や小売店の店頭での販売促進へつなげたことで、きはだ鮭製品の「シーチキンL」が好調に推移しました。また、主力製品の「シーチキンLフレック」とかつお製品の「シーチキンマイルド」のパック品が好調で、当製品群の売上高は前年同期比4.7%増加しました。「デザート」では、「朝からフルーツ」シリーズが一部の資材が不足したため販売休止を余儀なくされ低調となり、当製品群の売上高は同31.4%減少と大幅に落ち込みました。「パスタ&ソース」では、「結束」タイプのスパゲッティと「あらびきミートソース」が好調で、当製品群の売上高は同4.4%増加しました。「総菜」では、青魚の「健康」シリーズでデザート同様に販売休止が影響し、当製品群の売上高は同5.2%減少しました。

「花かつお・海苔・ふりかけ類」では、主に花かつお類のかつおパックが低調で当製品群の売上高は同5.6%減少しました。「ギフトセット・その他食品」では、ギフトセットが低調となり、当製品群の売上高は同12.7%減少しました。「業務用食品」では、シーチキンや「甘みあっさり」フルーツのレトルトパウチが好調で、当製品群の売上高は同1.8%増加しました。「ペットフード・バイオ他」では、主に国産ペットフードが低調となり、当製品群の売上高は同1.1%減少しました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、60,657千円です。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	82,600,000
計	82,600,000

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	20,650,731	20,650,731	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	20,650,731	20,650,731	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	—	20,650,731	—	1,441,669	—	942,292

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしています。

① 【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 154,000	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 20,382,000	20,382	—
単元未満株式	普通株式 114,731	—	1単元（1,000株）未満の株式
発行済株式総数	20,650,731	—	—
総株主の議決権	—	20,382	—

② 【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 （株）	他人名義 所有株式数 （株）	所有株式数 の合計 （株）	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合（%）
（自己保有株式） はごろもフーズ株式会社	静岡県静岡市 清水区島崎町151	154,000	—	154,000	0.75
計	—	154,000	—	154,000	0.75

（注）第1四半期会計期間末日現在の自己株式数は155,685株です。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）にもとづいて作成しています。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）および当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人双研社による四半期レビューを受けています。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	874,490	1,176,912
受取手形及び売掛金	16,502,018	17,997,925
商品及び製品	5,003,589	5,629,870
仕掛品	139,060	183,067
原材料及び貯蔵品	2,829,303	3,392,889
その他	2,150,366	2,258,380
貸倒引当金	△4,537	△5,672
流動資産合計	27,494,290	30,633,373
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,886,465	4,886,465
その他(純額)	6,412,021	7,258,998
有形固定資産合計	11,298,487	12,145,463
無形固定資産	268,430	257,909
投資その他の資産		
投資有価証券	6,790,771	6,788,775
その他	355,364	352,836
貸倒引当金	△25,168	△24,770
投資その他の資産合計	7,120,968	7,116,842
固定資産合計	18,687,886	19,520,215
資産合計	46,182,176	50,153,588
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,880,361	16,338,664
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払金	4,266,278	3,503,338
未払法人税等	217,029	365,006
売上割戻引当金	28,185	154,316
販売促進引当金	272	1,531,086
賞与引当金	412,937	623,950
その他の引当金	37,500	—
その他	582,185	748,926
流動負債合計	19,824,748	23,665,288
固定負債		
長期借入金	600,000	600,000
退職給付引当金	615,684	626,446
役員退職慰労引当金	588,805	589,379
資産除去債務	15,824	15,903
その他	1,470,266	1,445,006
固定負債合計	3,290,580	3,276,736
負債合計	23,115,329	26,942,024

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,512	942,512
利益剰余金	18,746,788	18,917,373
自己株式	△156,964	△157,932
株主資本合計	20,974,005	21,143,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,547,699	2,535,596
繰延ヘッジ損益	△5,956	△24,062
為替換算調整勘定	△448,901	△443,592
その他の包括利益累計額合計	2,092,841	2,067,941
純資産合計	23,066,847	23,211,564
負債純資産合計	46,182,176	50,153,588

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	20,838,187	20,624,516
売上原価	12,909,708	12,912,655
売上総利益	7,928,479	7,711,861
販売費及び一般管理費	7,128,669	7,118,813
営業利益	799,809	593,047
営業外収益		
受取利息	205	149
受取配当金	90,415	66,423
持分法による投資利益	—	12,866
受取手数料	106,291	100,084
その他	41,136	45,525
営業外収益合計	238,049	225,049
営業外費用		
支払利息	1,333	1,221
売上債権売却損	1,695	2,551
持分法による投資損失	12,703	—
賃貸収入原価	6,197	2,694
たな卸資産処分損	101	4,518
その他	1,709	7,761
営業外費用合計	23,740	18,747
経常利益	1,014,118	799,349
特別利益		
貸倒引当金戻入額	10,340	—
固定資産売却益	146	—
特別利益合計	10,486	—
特別損失		
貸倒引当金繰入額	1,360	47
固定資産除却損	2,171	398
投資有価証券評価損	639	6,449
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13,370	—
特別損失合計	17,541	6,896
税金等調整前四半期純利益	1,007,063	792,453
法人税等	409,636	365,670
少数株主損益調整前四半期純利益	597,426	426,783
四半期純利益	597,426	426,783

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	597,426	426,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△162,918	△12,102
繰延ヘッジ損益	△85,083	△18,105
持分法適用会社に対する持分相当額	20,435	5,308
その他の包括利益合計	△227,566	△24,900
四半期包括利益	369,860	401,883
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	369,860	401,883
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。 なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しています。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しています。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書および前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費	187,280千円	197,444千円

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

平成22年6月29日の第81期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	256,530千円
(ロ) 1株当たり配当額	12円50銭
(ハ) 基準日	平成22年3月31日
(ニ) 効力発生日	平成22年6月30日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

平成23年6月29日の第82期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	256,198千円
(ロ) 1株当たり配当額	12円50銭
(ハ) 基準日	平成23年3月31日
(ニ) 効力発生日	平成23年6月30日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

当社グループは、食品事業の単一セグメントのため、記載を省略しています。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

当社グループは、食品事業の単一セグメントのため、記載を省略しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	29円11銭	20円82銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	597,426	426,783
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	597,426	426,783
普通株式の期中平均株式数(株)	20,522,417	20,495,376

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月8日

はごろもフーズ株式会社

取締役会 御中

監査法人双研社

代表社員
業務執行社員 公認会計士 山本 英俊 ㊞

代表社員
業務執行社員 公認会計士 貴志 豊 ㊞

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているはごろもフーズ株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、はごろもフーズ株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。